

自動車整備科、一級自動車工学科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科、国際自動車整備科

時期	2年A巡	単元	実習	教科名	サスペンション応用	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	3級自動車シャシ		発行日	
			2級自動車シャシ			
総時限	23時限 (36時間)				教科担当	教科担当

1. 実務経験のある教員による授業科目 **該当** 非該当

自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの分解・組立・点検等について指導する。

## 2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)

1. アクスル及びサスペンションの概要・役割を理解する。
2. F r サスペンション部品の脱着ができる。
3. ドライブ・シャフトの脱着ができる。
4. エアサスペンションの構造、作動を理解する。
5. エア製造系の構造と作動を理解する。

## 3. 授業の到達目標 (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何ができるようになるのか)

1. 実物教材を見ることで学科理解を深める。
2. 正しい方法、手順で効率よく作業ができる。
3. アライメント測定をすることで二級勉強時に苦手とする分野の理解を促す。
4. エアサスペンションの基本構造を理解する。
5. エア製造系の構造と作動を理解する。

## 4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)

実技試験50点、筆記試験20点、行動評価15点、レポート評価15点の合計点で評価する。

一級自動車工学科は70点以上で合格とする。

自動車整備科は60点以上で合格とする。

自動車整備・ボディリペア科は60点以上で合格とする。

自動車整備・カスタマイズ科は60点以上で合格とする。

国際自動車整備科は60点以上で合格とする。

## 5. 準備学習

2級、3級自動車シャシを読み予習すること



		2024年度		授業計画	
自動車整備科、一級自動車工学科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科、国際自動車整備科					
時期	2年A巡	単元	実習	教科名	サスペンション応用
<b>7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)</b>					
番号	作業名	遵守事項		災害事例	チェック
1	保護具の装着	お客様の車両として扱うための基本的作業の繰り返し			
2	エンジン始動時の声掛け	エンジンルーム内の作業をしている者がいないか、あるいはしようとしている者への注意喚起を怠らない			
3	機器類の整理整頓	授業終了時ごとに測定機器類は指定の場所に片づける			
4	車両チェック及び清掃	車両チェックは授業開始、終了時ごとに、清掃は車両の内外を行うことで、外装の不具合発見につなげる			
5	リフト・アップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両周辺の安全確認</li> <li>・リフトボタンの確認</li> <li>・昇降時の掛け声</li> <li>・車両には乗り込まない</li> </ul>			
<b>8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)</b>					
実習場			座学教室		